

第6学年 外国語科学習指導案

1 単元名 「Lesson 6 I want to be a vet.」(三省堂「CROWN Jr.⑥」)
 なりたいたいものは、何? 将来就きたい職業と、その理由を伝えよう

2 単元の目標

- ・自分が将来就きたい職業と、その理由を伝え合うことができる。
- ・友だちが将来就きたい職業と、その理由の概要を捉えることができる。

3 言語材料

be/build/actor/comedian/designer/hairdresser/kindergarten teacher/librarian/office worker/programmer/researcher/vet/airplane/ambulance/fire engine/motorcycle/police car/ship/train/question/quick/quiet/quiz

4 単元の評価規準

観点 領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	ア 簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。 イ 職業に関する具体的な情報を聞き取ったり、概要を捉えたり技能を身に付けている。	ア 簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。 イ 職業に関する具体的な情報を聞き取ったり、概要を捉えたりすることができる。	ア 簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。 イ 職業に関する具体的な情報を聞き取ったり、概要を捉えようとしていたりしている。
話すこと(やり取り)	ウ 将来就きたい職業と、その理由について I want to be a (職業名).などを用いて友だちに自分の考えを伝えるための表現方法を理解している。 エ その場で質問をしたり質問に答えたりする表現方法を理解している。	ウ 将来就きたい職業と、その理由について I want to be a (職業名).などを用いて友だちに自分の考えを伝えることができる。 エ その場で質問をしたり質問に答えたりすることができる。	ウ 将来就きたい職業と、その理由について I want to be a (職業名).などを用いて友だちに自分の考えを伝えようとしている。 エ その場で質問をしたり質問に答えたり、伝え合おうとしている。
読むこと	(オ) 音声を聞きイラストなどを頼りに発表に必要な語句や基本的な表現の意味を理解している。	(オ) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、活字体で書かれた文字を識別し、その読み方(名称)を発音している。	(オ) 音声を聞きイラストなどを頼りに英語を読んで理解しようとしている。

※本単元では、() がついている項目については記録に残す評価は行わない。

※「書くこと」の評価は、同じ Unit 内の他の Lesson にて行う。

5 児童の実態

本学年の児童は、職業についての単語は第5学年の Lesson3 で既習している。本小単元では、将来就きたい職業を「I want to be a～」で表し、その理由を「like, can, want to」を使って表現をする学習である。

アンケート調査から、外国語が苦手、外国語を使ってやり取りをすることが苦手な児童が約30%いる。「分からない」「難しい」と感じることで苦手と考える傾向にある。さらに、「職業や乗り物、動作などの語彙を完璧に話したい、伝えたい」という思いが強い傾向がある。Say-Say カードを活用し、言いたい単語の発音を理解し、安心して参加できるようにする。

「Panorama talk」などで、学級全体で英単語やフレーズが聞きとれた時に自由に発声をする場面では、答える児童が多い。「〇〇が聞こえたね」「□□と言っていた」など、声を掛け合っている活動や繰り返し言う場面での活動は安心して行っている。

6 研究主題に迫るための手だて

(1) 「主体的に学習に取り組もうとする態度の涵養」に向けて

①ベラベラポイントの活用

主体的に学習に取り組むためには、自分が外国語で話せるという自信をもつ必要がある。簡単な表現を使って会話をつなげ、やり取りをしていくことで、会話が成立したという実感が沸き、自信をもってやり取りをすることができる。簡単な表現を使ってリアクションしながらやり取りをすることで、会話をつなげたり、深めたりしようとする態度の育成ができるようにする。

②Say-Say カードの活用

自分の言いたいことを外国語で言うためにはどの表現を使うか、指導者（HRT）や外国語指導補助手（ALT）に聞いてメモを取るためのツールである。自分の伝えたいことを外国語でどう表現するか知ることで、自信をもったり、過去の表現を想起したりすることができる。児童が外国語でのやり取りに自信をもつことで、積極的なやり取りにつながる。

(2) 「安心してできるやり取りの工夫」に向けて

①1 単位時間の時間配分の工夫

安心して取り組むためには、自分の話したいことを伝えるためのフレーズや単語が身に付いている必要がある。小単元の Lesson は、新しい表現を学習していく時間であるため、インプットを行う時間を増やしたい。そのため、1、3、5時のインプットを行う「知り Time」の時間と2、4、6時のアウトプットする「やり Time」の時間をバランスよく構成した。「やり Time」で話す・聞く活動を十分に行うことで、フレーズや英単語を身に付けられるようにする。

②視覚的な文章構成の提示

Unit を通して主語、動詞などを色分けすることで、現在形と過去形の違いや文章の構成を視覚的に認識する手助けになると考える。新しい文章に出会う際に色分けのヒントを頼りに主語、動詞などの語順を考えながら文章を構成して、学習することができるようにする。

③ICT 機器の活用

デジタル教科書を活用し、Chants や Panorama などの音声を聞いたり、リピートしたりすることで、ネイティブスピーカーによる外国語に慣れ親しませた。また、学習用端末を使って、児童自身が外国語を話す姿を録画し、確認、調整、再挑戦することで、実際にやり取りする際の安心・自信へとつなげる。

7 単元計画

時	1	2	3	4	5	6 (本時)	
Study goal	自分の将来の夢について伝え合おう。						
Today's goal	有名人の職業の言い方を知ろう。	有名人の職業の言い方が話せるようになろう。	その職業に就きたい理由を伝える方法を知ろう。	その職業に就きたい理由を伝えよう。	職業に就いてしたいことを説明する方法を知ろう。	My dream talk をしよう。	
学習活動	Greetings						
	ワイワイ Time	Games 職業当てゲーム			Games 陣取りゲーム		
	知り Time	Panorama Small Talk ・baseball player について紹介する。	Small Talk ・スライドを見ながら、さまざまな職業について伝え合う表現を聞く。	Small Talk ・その職業に就きたい理由を伝え合う表現を聞く。	Small Talk ・その職業に就きたい理由を伝え合う表現を聞き、「やり Time」で伝え合う内容の確認をする。	Panorama Small Talk ・将来就きたい職業について伝え合う表現を聞く。	Panorama Small Talk ・将来就きたい職業とその理由について伝え合う表現を聞き、「やり Time」で伝え合う内容の確認をする。
	やり Time	Activity ・Small Talk の流れをまねて伝え合う。 ・選択した職業について伝え合う。	Activity ・さまざまな有名人の職業について伝え合う。 ・ミドルコメントでベラベラポイントを確認する。	Activity ・スライドに出てきた有名人になりきって、その職業に就きたい理由を伝え合う。	Activity ・有名人になりきってその職業に就きたい理由を伝え合う。	Activity ・将来就きたい職業を伝え合うメモを作る。	Activity ・自分の将来就きたい職業とその理由について伝え合う。
	振り返り						
	Goodbye Greetings						
評価 〈評価方法〉	知識技能	ア〈行動観察・ワークシート 記述分析〉 (ハ)〈行動観察〉	イ〈行動観察・ワークシート 記述分析〉	エ〈行動観察〉	イ〈行動観察・ワークシート 記述分析〉	ウ〈行動観察・ワークシート 記述分析〉	
	思考判断表現		ア〈行動観察〉	イ〈行動観察・ワークシート 記述分析〉		(ハ)〈行動観察〉	ウ〈行動観察・ワークシート 記述分析〉 エ〈行動観察〉
	態度			イ〈行動観察・ワークシート 記述分析〉	ア〈行動観察〉	(ハ)〈行動観察〉	イ〈行動観察・ワークシート 記述分析〉 エ〈行動観察〉

8 本時（全6時間中の第6時）

(1) 本時の目標

- ・自分が将来就きたい職業と、その理由を伝え合うことができる。
- ・友だちが将来就きたい職業と、その理由の概要を捉えることができる。

(2) 本時の展開

時	学習内容・学習活動	○指導者(HRT)の留意点 ◎外国語指導補助手(ALT)の留意点	評価			
			知技	思判表	態度	評価方法
Greeting	1 Greetings ・ How do you feel now? What was it before?	○今の状態や既習事項を質問する。 ○絵カードを示し、想像しやすいようにする。 ◎正しい発音で指導者(HRT)の質問に答える。				
ワイワイ Time	2 Games (陣取りゲーム) ・ 8種類の職業の発音を練習する。 ・ 椅子に職業カード8枚を置く。 ・ 8チームに分かれ、黒板の両側に並ぶ。 ・ 黒板に貼られている順に「I want to be a～」と言いながら先に進む。 ・ 両側から進んだ児童が立ち合ったらじゃんけんをする。 ・ 勝った児童は進み、負けたら次の児童が出発する。 ・ 最後から2番目のカードを言ったチームを勝利とする。	◎正しい発音で児童に質問をしたり答えたりする。 ○児童が選んだ職業の絵カードを用意し、掲示することで参加意欲を高める。 ○言えない場合は日本語で発言してもよいことを助言することで、参加しやすい環境を整える。				
知り Time	3 Today's goalの確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">Today's goal My dream talk をしよう。</div>					
	4 Small Talk ・ Panorama を見ながら外国語指導補助手(ALT)とやり取りをする。	○文型や単語、表情、口の開き方、ジェスチャーなど共有してほしいことを確認する。 ○指導者(HRT)と外国語指導補助手(ALT)や児童とのやり取りの例示をすることで、安心してたくさんの児童と取り組めるようにする。 【ICT機器の活用】 ◎正しい発音で児童に質問をしたり答えたりする。				

やり Time	<p>6 Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> グループに分かれ、ドリームメリーゴーランドを行う。 前時に作成した将来就きたい職業とその理由を確認する。 各グループ4名をA/B/C/Dの4つに分ける。 A/B/C/Dに指定された号車に移動する。 1分間でペアの友だちと伝え合う。 ミドルコメントを聞く。 ミドルコメントを踏まえて伝え合う活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ベラベラポイントを確認し、目標とする姿を想起するようにする。 ○相手に伝わりやすくするために、学習用端末で画像を用意する。 ○ミドルコメントでは、外国語でどのようなことを伝えたかったのか、どうすれば伝えられるようになるのか確認する。 ○ミドルコメントで、Today's goalやベラベラポイントを確認し、意識を広げていく。 ◎外国語で称賛したり励ましたりすることで児童の自信につなげる。 		ウ エ	イ エ	ワークシート 記述 分析 行動 観察
振り 返り	<p>7 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 <p>8 Goodbye Greetings</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてが達成できたか、ベラベラポイントを使ってやり取りできたかなどを振り返られるようにする。 			イ エ	ワークシート 記述 分析